

芸術

科目	美術 I	単位数	2単位	学科・学年・コース	全学科 2年 選択
使用教科書	日本文教出版 高校生の美術 I				
副教材等	教員が作成したプリント				

1 学習目標

- ① 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。
- ② 感性や創造力を高め、独自の工夫を凝らして制作する能力を育成する。
- ③ 鑑賞することによって、美術の多様さや美術文化についての理解を深める。

2 指導の重点

美術の基礎をしっかりと学ばせ、各課題の中で、主題をどのように表現するかをじっくりと考えてから制作する態度を養う。

3 指導計画

学期	学習内容 (単元名)	学習のねらい
1学期 [26]	<ul style="list-style-type: none"> ・デッサンの基礎 [8] ・デザインの基礎 [10] ・彫刻の基礎 [8] 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の課題に活かせるよう、美術の基礎を習得する。 ○道具の特性や材料に注意し、描写/色塗りを中心とした制作をする。テーマを理解し、独自の発想から構想を練り、効果的に表現する。 ○身近にある製品をデザイン、製作することにより、彫刻/生産デザインの基本を学ぶ。
2学期 [30]	<ul style="list-style-type: none"> ・レタリングの基礎 [5] 〔・デザインの応用 [15]〕 〔・映像メディア表現の基礎〕 ・デッサンの応用 [10] 	<ul style="list-style-type: none"> ○文字のデザインなど、美術の基礎を引き続き学習し、課題に応用する。 ○文字の意味と画面効果を結びつけ、写真等を用いながら応用的なデザイン作品の大作を制作する。 ○伝統的な表現、現代的な表現を学ぶことで、表現の幅の多様性を理解する。
3学期 [14]	<ul style="list-style-type: none"> ・工芸の基礎 [10] ・鑑賞 [4] 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域で受け継がれる伝統工芸品などをもとに、デザイン・製作することにより、工芸の基本を学ぶ。 ○日本または諸外国の美術作品を鑑賞することで美術の多様性や制作者の製作意図を理解する。

計 70 時間 (50 分授業)

4 評価の観点・方法

評価は、次の4つの観点から行います。

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に創造的活動に取り組もうとしている。	感性や想像力を活かしながら、作品づくりのアイデアを練っている。	表現方法を工夫しながら作品づくりに取り組もうとしている。	美術や美術文化など幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

5 担当者からの一言

美術の基礎を身につけ、制作に応用することにより、自らの美的発想を広げることを目指します。また、さまざまな創作活動を通して、絵を描く楽しみやデザインを仕上げる喜び、立体作品を作る面白さを味わってほしいと考えます。

